

意見交換会で出た
スポ少の課題

1 活動場所の 環境整備

議会の視点

スポーツ少年団の活動場所は町の施設（体育館・武道場・野球場等）や個人所有の施設など様々。夜間練習時の環境整備の問題や、昨今の異常気象による夏の暑さ対策には待ったなしの声がある。町は老朽化した公共施設の整備も含め、喫緊の課題として捉えるべき。



5月17日に開催した意見交換会。スポ少指導者・保護者から多くの「声」が上がった。

意見交換会での
主な意見要望

- ・ナイター照明がなく夜間練習ができない。
- ・グラウンドが芝生なら生傷も少なくなる。
- ・アタゴ体育館、剣道場、柔道場の空調整備を。
- ・体育館の照明のLED化。
- ・体育館の鳥侵入対策。

意見交換会で出た
スポ少の課題

2 指導者の 負担

議会の視点

ほとんどの指導者がボランティアでの運営となっている。遠征の移動費・団の登録費・資格取得費は個人負担。全ては「子どもたちのため」だが、指導者・保護者の献身的なサポートありきの運営に、町からの補助金だけでは立ち行かなくなるのでは……。

※現在、町はスポ少本部を通して各団体に①運営費5万5000円、②団員募集事業費4万5000円、③日本スポーツ少年団と埼玉県スポーツ少年団への団員・指導者・役員・スタッフの登録費の半額（団員500円×人数分、指導者・役員・スタッフ1000円×人数分）を補助している。

意見交換会での
主な意見要望

- ・指導者の負担が心配で心苦しい。指導者には感謝しかない。
- ・指導者も仕事との両立が困難で、担い手が限られている。
- ・若手の指導者の育成が急務。

Next

意見交換会で出されたスポ少課題「少子化・ニーズの多様化」



指導者
末吉康宏さん（男急）

それぞれの種目によって負担金額は違うと思いますが、私たちは毎年3万円前後の指導者資格に係る費用や、ほかに遠征時の移動費等も自分で負担しています。
そもそも子どもたちのための考えですが、これからの指導者を育成していくために少しでも補助が増えるとありがたいですね。

指導者負担の一例 ※末吉さんの場合／年間
日本スポーツ少年団登録料：1万5000円
日本バスケットボール協会登録料：5000円
埼玉県バスケットボール協会登録料：2000円
審判ライセンス登録料：4000円
審判ライセンス更新受講料：2000円～4000円



コーチ
井澤剛史さん（桜沢）

OB
伊藤陸さん（鉢形）

コーチ
榎本啓祐さん（用土）

コーチのライセンス資格を取って初めて関わった生徒が伊藤君です。

OBになって先輩たちとバスケができて楽しいです。

団ができてから今年で30年。自分は1期生ですが今コーチとして関わることができて嬉しいです。



専用のナイター設備がある
深谷市花園総合運動公園で練習

寄居小には町で唯一ナイター照明がありますが、照明の高さが低くて野球やソフトボールでは使用できないので、深谷市花園総合運動公園を借りて練習しています。
町内の施設整備をお願いしたいです。

指導者
齋藤 薫さん（鉢形）



保護者
西 哲雄さん（深谷市）

遠方（入間市、深谷市等）から通っている家族もいますよ。皆さん、**ここでしか学べないものがあり**、子どもの将来にとっても貴重な機会と考えています。

熱中症対策は国で義務化になっています。子どもたちのための暑さ対策だけでなく、体育館はいざ災害があったときの避難所にもなっているはず。今の**暑さ対策は待ったなし**。早期の整備をお願いしたいです。



保護者
伊藤恵さん（鉢形）



保護者
前田夏紀さん（上里町）

保護者
福島宏子さん（深谷市）

指導者の先生を信頼して、他市町から寄居町へ通っています。

家族で、子どもたちも姉弟でお世話になっています。

お兄ちゃんがやってほくも始めました